

皆の地球友好ネット通信

創刊号 2014 年 9 月 6 日 札幌大学名誉教授 金子利喜男編集

超党派、超宗派、超国家、全人類統合的



世界に多くの友だちをもつ 平和福祉友好協力 ネット

この通信が不要のかたは、「通信不要」と返信して下さい。

ことし4月から、地球友好
ネット (The Earth Friendship Net)
をつくろうと よびかけてき
ました。皆さんは3回ほどそ
のようなメールをうけとっ
たとおもいます。

初めての試みでしたので、
「地球友好ネット」の内容が
わからなかったかもしれま
せんが、**皆の地球友好ネット通信**
創刊号を日本語で発行する
にあたり、少し前提案を修正
して、その目的を下記の方
なものとして、再確認します。

ネットの日本語版の目的は、
第1に、諸民族間のグローバルな
コミュニケーションを日本語で
促進(promote)すること。

第2に、このネットは、言語
だけでなく、政治、経済、文化、

観光、その他の分野にも寄与
(contribute)すること。

第3に、このネットの幹部と
担当者を養成し、とくに多言語
による地球友好ネットの普及
はかること。そのため、各国に
国別センターを設置したいです。

皆さんに今後これらの貴重な
情報を送信するため、ぜひ「地
球友好ネット」の会員になって
下さるようお願い致します。

会員の会費(membership fee)
はまったく無料で、各会員の
同意がないかぎり、団体会員も
個人会員も、なんらの義務も生
じないので、ご安心ください。

この通信が「超国家的」(supernational)とい
うのは、ここでは諸国家間の相違を「乗り越えて」、
より良いものを探求するという意味であり、**国家**
権力の**上部機関**との意味ではありません。国際法
(international law)や政治学などで、「超国家的」
というのは、後者の意味で使用されています。

たいわん きんきょうほうこく 台湾の近況報告

にほん かんこうきゃく 日本では台湾からの観光客が No.1

わたしが最初の台湾旅行したのは、2012年1月5日から9日まで5日間。冬も温暖、それに家内も一緒だったので、楽しい旅でした。

皆さんは、日本に観光でくる外国人が いちばん多い国、地域はどこか知っていますか。それは台湾です!! それは日本との類似性(likeness)、それに Transasia Airways 社の格安の航空運賃によるかもしれませんね。

それでは、第2問。今回の台湾への旅行は2014年8月の26日から30日まででしたが、その往復運賃は? びっくりするなかれ、それは36,000 円。やすいでしょう!!

第3問。このころの ANA 航空会社の沖縄までの往復航空運賃は、36,000 円以上か、以下か? [外国人のためのヒント: 台湾の首都、台北は、沖縄からさらに西南630km, 2時間30分]。このころの ANA の料金は約4 万円で、台湾旅行が断然格安だ!

ところで、台湾旅行は楽しかったが、真夏なので大変むしあついでしたね。サウナにいるようであったという、少し大げさだが、夜であってもエアコンをつけないと、とても眠れない。

それにしても、台湾の首都、台北のいくつかの大学や他の施設で、日本関係の人たち知り合いになることができ、これが台湾人と私たち、それに皆さんとの友好をふかめる機縁となりえるので、今後の展開が楽しみです。

たいわん だいがく 台湾の多くの大学が日本語教育を導入

金子ゼミ、北海道留学、日本で就職、日本語教師

中国は、おおくの大学が日本語教育を導入(introduce)し、台湾だけで150校ほどあります。その首都の台北では、親しみを感ずる人たちとお会いすることでき、うれしかったですね。

最初に会ったのは、国立政治大学の徐翔生・日本語学科長で、ここでは200名ほどの学生が日本語を勉強しているという。すごいですね。訪問目的は、地球友好

ネット、日本での私のゼミ、北海道への学生の短期または長期の留学、日本で外国の学生の就職をお世話することについての説明です。参照:

<http://leccorp2014.wix.com/home#!about-1/c3o8>



政治大学近辺の風景



湾大学はヤシの並木がきれい

8月27日、国立政治大学の次に訪問したのは、国立台北教育大学と台湾大学(ここでは日本語関係の謝宛庭さんと会って)。通訳なしの一人旅なので、一日いくつかの大学訪問で精一杯。

大学間の移動(movement)では、もっぱらタクシーを利用。なんせ20分ほどで600円であるし、なにより猛暑からののがれたい一心でクーラーつきのタクシーにすべりこむのだ。

翌28日も、また蒸し暑い猛暑との戦い。私は72歳なので、まさしく生死がかかっているが、後悔、先にたたず。それでも、老骨に鞭をうって、国立台北商業技術大学、銘傳大学(日本語関係者の呂志福さんとお会いする)、それに東呉大学(Dong Wu Da Xue)を表敬訪問する。

陽岱鋼ファンクラブをつくらう!!

東呉大学「日本語文学系」の蘇克保博士は、私が提案した陽岱鋼ファンクラブをつくることに賛成。棋聖棋院の席亭・程清江さんも、その林珀瑛さんも、この会員になるという。

翌29日、世新大学(Shih Hsin University)と台北医学大学の訪問。30日(土)に無事帰国。

「後悔(regret)、先にたたず」とは、事が終わった後で悔いても、とりかえしがつかないこと。私の場合には、猛暑にたえるのみだ。

席亭とは、寄席、貸席、囲碁クラブなどでの亭主。